

あとがき

アジア太平洋眼科学会 (APAO) が、5 月中旬にインドネシアのバリ島で開催されました。3,100 余名の参加者でした。ちょうど神戸で新型インフルエンザの 2 次感染が拡大した頃で、安全なインドネシアに避難した格好でした。急逝された APAO 会長の田野保雄先生を偲ぶ追悼文が正入口に提示され、開会式では全員で黙祷を捧げました。アジアの若手眼科医をサポートする奨学金制度には、尽力された田野先生の名前が冠されました。開会式でのアトラクションは、バリ島の民族舞踊や歌謡のほか、参加者全員での民族楽器の演奏がありました。竹でできた簡単な民族楽器が用意され、音階の 1 つの音だけが出るようにしてあります。司会者の先導にあわせて、各自が自分の音の番のときに鳴らし、全員で 1 つの曲を奏するという趣向で、参加者が国を超えて一体になり国際学会のイベントとして大変好感のもてる催しでした。2014 年には国際眼科学会が APAO と併催で東京で開催されます。学術の交流に加えて世界の眼科医の団結も目的であり、なにかこのような一体感のもてる催しがあればよいと思いました。

病をみて人をみず、とは耳にタコができるほど聞いてきた言葉です。インフォームド・コンセントの概念が広まり、病態についての説明にはかなり時間をかける習慣ができましたが、患者の立場で親身になれるかという点必ずしも十分とはいえません。今月の話題はいつもの先進的な技術や研究の紹介ではなく、患者とのコミュニケーションのずれを扱ったものです。失明という言葉についてのギャップ、視野検査の結果についての理解のギャップ、体感視野と検査視野のギャップという網膜色素変性診療における患者と医師の 3 つのギャップについて書かれています。こういうギャップは糖尿病網膜症や緑内障、色覚異常などの診療にもあることです。患者の身になるとはどういうことか、考えさせられる話題です。ぜひご一読ください。(根木 昭)

編集顧問 宇山昌延 大野重昭 清水弘一 玉井 信 塚原 勇 水流忠彦 馬嶋昭生
増田寛次郎 三宅養三

編集委員 坂本泰二 鈴木康之 寺崎浩子 中澤 満 西田輝夫 根木 昭 (五十音順)

臨床眼科 (第 63 巻 第 7 号)

発 行 株式会社 医学書院

2009 年 7 月 15 日発行 (毎月 1 回 15 日発行)

代 表 者 金原 優

定価 2,835 円 (本体 2,700 円+税 5%)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

〔2009 年 年々ぎめ予約購読料 41,660 円
電子ジャーナル閲覧オプション付 54,300 円〕
〔増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料小社負担〕

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。「臨床眼科」のページにて最新号の目次、バックナンバーを直接閲覧頂けます。Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringan/>
- ・ JCLIS<㈱日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈱日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。

担当 鶴淵・風間・安部